

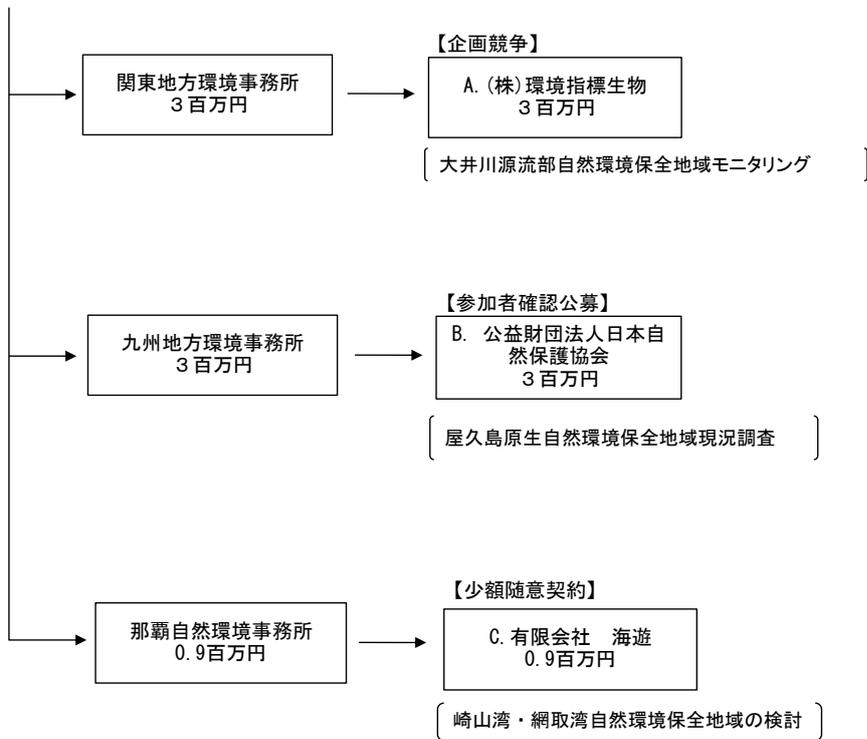
平成25年行政事業レビューシート (環境省)							
事業名	原生的な自然環境の危機対策事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	自然環境計画課		課長 亀澤 玲治	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-2 自然環境の保全・再生			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然環境保全法第30条の2及び第30条の3等		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自然環境保全地域等は、国土の生態系ネットワークの核となる部分を形成しており、我が国の生物多様性の保全上極めて重要な地域であるが、シカの食害等による生態系の攪乱など、原生的な自然環境の危機へと繋がる重大な問題が発生している。本事業では、科学的知見に基づいた危機状況の把握・分析・評価及びそれらに基づく対策を実施することにより、当該地域の適切な保全管理の実施を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域について、専門家等の協力を得て現地調査や情報収集等を実施することにより、科学的な知見に基づき、危機状況の把握・分析・評価を行い、必要とされた調査や対策を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	10	13	7	5	5
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	10	13	7	5	5
	執行額	10	15	7			
執行率 (%)	100	115	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	自然環境保全地域等の適切な保全管理の実施(当該地域の適切な保全管理を図る事業)のため、定量的な成果目標を示すことは困難。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	自然環境保全地域等の危機状況の把握・分析・評価及びそれらに基づく調査等を実施。	活動実績 (当初見込み)	箇所	3	4 (4)	3 (3)	- (1)
単位当たりコスト	2.33(百万円/1地域)		算出根拠	年間あたりの執行額÷調査等実施箇所			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	5	5				
	計	5	5				

事業所管部局による点検					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	原生自然環境保全及び自然環境保全地域は、人為の影響をほとんど受けていない原生的な森林や、固有性・希少性の高い生物種の生息地など、我が国の生物多様性の保全上極めて重要な地域であり、それぞれの地域については、自然環境保全法に基づき、国が保全のための事業を行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定にあたっては、少額のものを除き一般競争入札に付し、競争性を確保している。また、コストの妥当性の確認や使途についても必要なものに限定等するなどしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域の実情を踏まえた調査内容にするとともに、前年度の調査結果を踏まえモニタリングマニュアルを作成するなど、今後適切な保全管理を継続的に進めていくための事業を展開した。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>平成22年度から実施している自然環境保全地域等における危機状況の把握・分析・評価に加え、平成23年度からは前年度の調査等結果を踏まえ保全上必要な対策を検討・実施している。</p> <p>平成24年に実施した調査等は、今後の保全対策に効果的かつ効率的に活用されるような内容となっており、また支出先の選定にあたっては競争性を確保するなど、本事業についてはその目的に沿った効率的な予算執行が図られている。</p>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	152	平成24年	158

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
7百万円

科学的知見に基づいた危機状況
の把握・分析・評価及びそれら
に基づく対策を実施



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)環境指標生物			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	現地調査等	1.6			
旅費	交通費	0.4			
一般管理費		0.2			
その他	諸経費・報告書等	0.8			
計		3	計		0
B.公益財団法人 日本自然保護協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	現地調査等	1.4			
旅費	交通費	0.7			
一般管理費		0.3			
その他	報告書等	0.6			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境指標生物	大井川源流部原生自然環境保全地域モニタリング	3	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人 日本自然保護協会	屋久島原生自然環境保全地域現況調査	3	参加者確認公募	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社 海遊	崎山湾・網取湾自然環境保全地域の検討	0.9	少額随契	—